

藤病第636号

平成24年10月2日

地域医療支援病院業務報告書

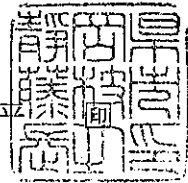
静岡県知事 川勝 平太 様

住所（所在地） 静岡県藤枝市駿河台四丁目1番11号  
報告者

氏名（名称及び代表者氏名）

藤枝市立総合病院

藤枝市長 北村 正平



23年度の業務について、次のとおり医療法12条の2の規定により報告します。

記

1. 地域医療支援病院の名称 藤枝市立総合病院
2. 開設の場所 静岡県藤枝市駿河台四丁目1番11号
3. 紹介患者に対する医療提供及び他の病院（診療所）に対する患者紹介の実績
4. 共同利用の実績
5. 救急医療の提供の実績
6. 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
7. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
8. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
9. 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績
10. 患者相談の実績



(様式例第1)

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院（診療所）に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率	61.7%	算定期間	平成23年 4月 1日から 平成24年 3月31日まで
地域医療支援病院 逆紹介率	83.0%	算定期間	平成23年 4月 1日から 平成24年 3月31日まで
算出根拠	A：紹介患者の数	9,640人	
	B：救急患者の数	1,475人	
	C：初診患者の総数	18,028人	
他の病院又は診療所に紹介 した患者の数		14,970人 ( 3,696人)	

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和をCで除した数に100を乗じて小数点以下第1位までを記入すること。それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあっては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、( )内に「A：紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること。

平成23年度 藤枝市立総合病院の紹介率・逆紹介率

(地域医療支援病院：医療法第4条の算式による)

再掲

区分	平日時間内の外来患者数(初診)		夜間・休日の外来患者数(初診)		平日時間内の入院患者数(初診)			夜間・休日の入院患者数(初診)		診療情報提供料I Y 提供料I 算定数	小計 X ①~⑩ 初診計	A 紹介患者 の数 紹介状あり のすべて ①③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	B 救急患者 の数 救急緊急入院 紹介状なし ⑥⑩	C 初診患者の 数 夜間休日外 来紹介なし を除く X-④	紹介率(%)		逆紹介率(%)	
	② 紹介状あり 紹介状なし		③ 紹介状あり 紹介状なし		④ 紹介状あり 紹介状なし		⑤ 紹介状あり 紹介状なし		△土丘						前年度 実績	Y	前年度 実績	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨						⑩	△土丘 C X100%	Y C X100%	
4月	644	461	44	571	31	15	46	34	40	99	1,985	805	133	1,414	66.3	62.4	79.5	69.4
5月	601	530	29	581	37	18	32	25	55	112	2,020	754	137	1,439	61.9	66.7	73.9	77.9
6月	795	615	24	529	28	23	45	34	44	72	2,209	936	106	1,680	62.0	63.1	82.1	68.3
7月	712	626	45	693	25	19	37	32	32	83	2,304	851	115	1,611	60.0	60.9	80.3	66.7
8月	753	787	36	637	50	22	41	24	42	75	2,467	922	99	1,830	55.8	57.9	73.2	65.1
9月	683	526	35	517	24	16	39	35	37	91	2,003	818	126	1,486	63.5	63.1	86.9	70.2
10月	639	562	35	495	32	16	39	27	41	88	1,974	786	115	1,479	60.9	61.5	80.0	72.4
11月	686	600	40	452	27	30	41	43	28	90	2,037	822	133	1,585	60.3	61.7	79.6	79.2
12月	610	557	50	631	27	30	49	37	33	105	2,129	769	142	1,498	60.8	63.0	90.4	79.3
1月	564	460	39	604	22	12	57	38	30	93	1,919	712	131	1,315	64.1	62.6	88.7	79.7
2月	584	462	35	464	19	24	49	43	23	79	1,782	710	122	1,318	63.1	62.2	97.6	82.1
3月	584	476	49	465	22	26	65	38	35	78	1,838	755	116	1,373	63.4	63.5	89.4	87.7
累計	7,855	6,662	461	6,639	344	251	540	410	440	1,065	24,667	9,640	1,475	18,028	61.7	62.3	83.0	74.6
構成率	43.6%	37.0%	2.6%	36.8%	1.9%	1.4%	3.0%	2.3%	2.4%	5.9%	136.8%	53.5%	8.2%	83.0%				

1,720

◎承認要件の一部

・紹介患者中心の医療を提供していること

①紹介率80%以上(又は60%以上で承認後2年間で80%達成が見込まれる場合)

②紹介率60%以上かつ、逆紹介率30%以上

③紹介率40%以上かつ、逆紹介率60%以上

※ 紹介率算式 : 地域医療支援病院紹介率 =  $\frac{\text{紹介患者の数}}{\text{初診患者の数}} + \frac{\text{救急患者の数}}{\text{初診患者の数}}$

※ 紹介患者の数 : 開設者と直接関係のない他の医療機関から紹介された者の数(初診の患者に限る。また、紹介元である他の医療機関の医師からの電話情報により紹介先の医師が紹介状に既記する場合、及び他の医療機関等における検診の結果、必要とされた精密検診のための受診で、紹介状又は検査票等に紹介目的、検査結果等についてその記載がなされている場合を含む。)

※ 救急患者の数 : 緊急的に入院し治療を必要とした救急患者の数(初診の患者に限る。)\* 紹介患者との重複除く

※ 初診患者の数 : 初診患者の総数(当該病院が医療計画において位置付けられた救急医療事業を行う場合にあっては、当該救急医療事業において休日又は夜間に受診した救急患者の数【初診の患者に限る。また、緊急的に入院し治療を必要とした救急患者の数を除く。】を除く。)

※ 逆紹介率算式 : 地域医療支援病院逆紹介率 =  $\frac{\text{逆紹介患者の数}}{\text{初診患者の数}} \times 100\%$

紹介率および逆紹介率の維持、または、さらに向上させるために

当院内にある志太医師会が運営する病診連携室とともに、平成21年度に新たに設置した「地域医療連携室」が中心となり、病診連携及び病病連携の充実を図っている。

- ・地域連携パスの利用を促進する。
- ・「地域医療連携運営委員会」及び「藤枝市立総合病院運営懇話会」において、今後も地域医療連携の強化をお願いしていく。

(様式例第2)

## 2 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実績

### (1) 共同利用の実績

・医療機器（検査）の共同利用

医療機関の延べ数	1,106施設
うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1,106施設

注) 当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

### (2) 共同利用の範囲等

(診断機器)

- ①X線CT装置 ②磁気共鳴断層撮影装置 ③一般X線撮影装置 ④骨密度測定装置  
⑤X線断層撮影装置 ⑥CRシステム ⑦超音波断層装置 ⑧ホルター心電図装置

(設備)

- ①外来診察室 ②救急救命室 ③講堂 ④医局 ⑤研修室 ⑥第一会議室  
⑦各階カンファレンスルーム ⑧臨床検査室 ⑨病理検査室 ⑩病棟

(その他の共同利用)

- ①外来診療への参加 ②入院診療への参加 ③手術への参加 ④病理解剖の受託

(受託検査)

- ①CT検査(単純撮影) ②MRI検査(単純撮影) ③骨密度測定 ④超音波検査  
⑤X線撮影 ⑥聴性脳幹反応検査(ABR) ⑦神経伝達速度検査(MCV・SCV)  
⑧大動脈・脳波電播速度検査(PWV・ABI) ⑨心電図(12誘導)  
⑩マンモグラフィ検査 ⑪脳波検査 ⑫ホルター心電図の解析 ⑬病理検査  
⑭ヘパラスチンテスト ⑮一般細菌検査 ⑯骨髄像検査(診断のみ) ⑰緊急検体検査  
⑱CRのデジタル処理 ⑲無呼吸症候群スクリーニングテスト

注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用を行ったものを明記すること。

(3) 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる 診療科	地域医療支援病 院開設者との経 営上の関係
別紙のとおり				

注) 同一の2次医療圏に所在地のある医療機関のみ記載してください。

常時共同利用が可能な病床数	12床
---------------	-----

登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
1	青島北クリニック	竹澤 英夫	藤枝市瀬古2-6-15	消内	なし
2	朝比奈診療所	小谷 仁人	藤枝市岡部町新舟314-5	内小糖	なし
3	あまの耳鼻咽喉科クリニック	天野 肇	藤枝市田中3-6-16	耳アレ	なし
4	いしかわレディースクリニック	石川 広巳	藤枝市平島70-1	産婦	なし
5	いわしたクリニック	岩下 方彰	藤枝市上青島463-2	消内外整内	なし
6	おだクリニック	尾田 篤実	藤枝市上藪田字澤田73-2	泌皮	なし
7	介護老人保健施設マインド	羽白 洸	藤枝市瀬戸新屋487-2	外	なし
8	介護老人保健施設ユニケア岡部	杉浦 正司	藤枝市岡部町内谷1473-3	脳神内	なし
9	北川医院	北川 元昭	藤枝市高洲62-7	泌内皮	なし
10	きむら眼科	木村 毅	焼津市上新田829-1	眼	なし
11	坂本医院	坂本 泰子	藤枝市青南町4-4-13	皮	なし
12	志太三輪医院	三輪 誠	藤枝市岡部町内谷60-2	内小泌	なし
13	しまづ整形外科	嶋津 正宏	藤枝市高柳2-7-23	整リウリハ	なし
14	杉田整形外科	杉田 光	藤枝市瀬戸新屋302-4	整リハ	なし
15	すぎむらクリニック	杉村 久雄	藤枝市若王子3-5-29	内呼循消	なし
16	すずき小児科医院	鈴木 正之	藤枝市青葉町5-11-30	小アレ	なし
17	すだ医院	須田 雄司	藤枝市築地241	精心療	なし
18	たきいクリニック	滝井 泰弘	焼津市相川1215-2	小内アレ	なし
19	田熊こどもクリニック	田熊 俊一	藤枝市瀬古2-6-18	小アレ	なし
20	ためま街道整形外科	野村 洪海	藤枝市大新島707-1	整リハリウ	なし
21	つばくろ在宅ケアクリニック	松村 剛	藤枝市高柳1491-1	内泌外	なし
22	ともの眼科	伴野 正明	藤枝市青葉町2-1-46	眼	なし
23	ななほレディースクリニック	鈴木 利昭	藤枝市前島3-8-40	産婦	なし
24	にわ医院	丹羽 弘之	藤枝市藤岡1-15-11	内胃循呼アレ小	なし
25	はた医院	畑 昌宏	藤枝市田中3-2-59	泌内	なし
26	はまべ整形外科	濱邊 卓也	藤枝市上藪田74-1	整リハリウ	なし
27	ハラダ城南医院	原田 昇	藤枝市田中3-6-17	内消外	なし
28	ひろせクリニック	廣瀬 正和	藤枝市駅前2-19-8	内	なし
29	藤枝眼科クリニック	辻 美和	藤枝市青木2-4-20	眼	なし
30	ふじえだ耳鼻咽喉科クリニック	木村 大輔	藤枝市上藪田74-3	耳アレ	なし
31	藤枝心療内科クリニック	持丸 純一郎	藤枝市前島2-2-6リハーヂュII 2F	心療精	なし

## 登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
32	ほしのクリニック	星野 正明	藤枝市岡部町内谷650	脳リハ外	なし
33	匡ペインクリニック	多久島 匡登	藤枝市駅前1-5-17	整リハ	なし
34	まつなが耳鼻咽喉科クリニック	松永 忠彦	藤枝市駅前2-3-8	耳アレ	なし
35	水上内科クリニック	水上 啓	藤枝市高柳2-3-43	内消循	なし
36	みやけ皮膚科	三宅 純一	藤枝市前島2-17-1	皮アレ	なし
37	みやはら内科クリニック	宮原 健夫	藤枝市小石川町1-7-20	内消小	なし
38	山崎クリニック	山崎 健司	藤枝市志太2-11-12	脳内神内	なし
39	吉田クリニック	吉田 守	藤枝市大洲4-7-33	内脳リハ	なし
40	よしだ整形形成外科医院	吉田 明広	藤枝市小石川町4-1-20	整形	なし
41	井澤内科クリニック	井澤 浩明	藤枝市本町2-8-30	内消	なし
42	奥皮フ科医院	奥 知三	藤枝市駅前3-15-14	皮	なし
43	横山消化器内科	横山 靖	焼津市下小杉385	内消	なし
44	花岡医院	花岡 明宏	藤枝市岡部町内谷1740-4	胃外	なし
45	岩田クリニック	岩田 政敏	焼津市宗高字中川原1168-1	内呼アレ循リハ	なし
46	吉田医院	吉田 忍	焼津市利右衛門972-1	外内消	なし
47	錦野クリニック	錦野 光浩	藤枝市青葉町2-1-47	外消肛	なし
48	近藤胃腸科外科	近藤 匡	藤枝市南新屋246-1	胃外肛	なし
49	敬天堂医院	高木 幸有	藤枝市岡出山1-7-21	外整皮内放消外	なし
50	五十嵐医院	五十嵐 邦夫	藤枝市瀬戸新屋258-1	泌腎皮	なし
51	香山婦人科クリニック	香山 文美	藤枝市水上319-2	婦	なし
52	高橋医院	高橋 博	藤枝市下青島201-5	内	なし
53	高洲早川クリニック	早川 恒幸	藤枝市与左衛門428-2	内リハ	なし
54	高松整形外科	高松 眞	藤枝市岡出山3-1-8	整リハ	なし
55	黒川医院	黒川 彰	藤枝市瀬戸新屋296-2	内	なし
56	三倉医院	三倉 一彦	藤枝市五十海4-14-21	内小リハ	なし
57	市川眼科医院	市川 真人	藤枝市藤枝4-7-28	眼	なし
58	志太ENTクリニック森耳鼻咽喉科	森 泰雄	藤枝市大洲1-3-4	耳	なし
59	柴田医院	柴田 正純	藤枝市藤枝4-1-12	内呼消胃循小神内皮	なし
60	秋好医院	秋好 龍彦	藤枝市大洲3-17-2	内循消	なし
61	秋山医院	秋山 敬	藤枝市本町3-2-24	外整リハ	なし
62	小川眼科医院	小川 淳	藤枝市本町2-6-1	眼	なし



登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
63	小林小児科	小林 正明	藤枝市前島1-14-21	小	なし
64	心のクリニック	中江 清員	藤枝市駅前1-7-22	精神	なし
65	神戸整形外科	神戸 良夫	焼津市宗高1497-2	整リハリウ	なし
66	菅ヶ谷内科医院	菅ヶ谷 純弘	藤枝市堀之内1724	内胃小	なし
67	聖稜リハビリテーション病院	竹内 俊明	藤枝市宮原676-1	心精	なし
68	西井胃腸科外科	西井 宏有	藤枝市高柳2035-1	胃外整肛リハ内	なし
69	西山クリニック	西山 照正	藤枝市平島921-1	内循	なし
70	誠和藤枝病院	豊嶋 駿	藤枝市中ノ合26-1	内リハ	なし
71	静岡県予防医学協会 藤枝健診センター	戸塚 哲男	藤枝市善左衛門2-11-5	内(人間ドック)	なし
72	静岡県予防医学協会 総合健診センター	田川 隆介	藤枝市善左衛門2-19-8	内(人間ドック)	なし
73	川口内科	川口 吉紀	藤枝市八幡279-1	内循小	なし
74	村松耳鼻咽喉科気管食道科医院	村松 弘明	藤枝市藤枝5-6-38	耳気アレ	なし
75	大井医院	大井 成子	藤枝市高洲41-9	内	なし
76	大岩内科医院	大岩 茂則	藤枝市高岡1-19-30	内小呼	なし
77	大久保医院	大久保 明	焼津市上小杉853-1	外消	なし
78	大持医院	大持 寛	藤枝市藤枝5-7-4	小内循	なし
79	藤岡クリニック	赤堀 秀樹	藤枝市藤岡2-1-5	内消小	なし
80	藤枝駿府病院	溝口 勝美	藤枝市小石川町2-9-18	精	なし
81	藤枝診療所	小津 千佳	藤枝市高洲781	耳アレ	なし
82	藤枝南クリニック	峯尾 喜好	藤枝市前島2-2-20	整神内リハ	なし
83	藤枝平成記念病院	平井 達夫	藤枝市水上123-1	脳	なし
84	入交医院	入交 修	藤枝市大手2-6-19	内循	なし
85	八木医院	八木 芳徳	藤枝市本郷181	内	なし
86	板倉医院	板倉 甫能	藤枝市田沼4-2-25	内皮泌リハ心内消胃	なし
87	平井医院	平井 正孝	焼津市上泉590	皮泌	なし
88	柳原内科医院	柳原 寿男	藤枝市藤岡4-488-103	内胃小アレ	なし
89	鈴木レディースクリニック	鈴木 英彦	藤枝市大洲4-7-15	産婦	なし
90	鈴木内科医院	鈴木 豊栄	藤枝市茶町4-12-18	内	なし
91	櫻井医院	櫻井 敦	焼津市上新田829-3	内小	なし

## 登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
92	あさひ歯科	鈴木喜一郎	藤枝市前島1丁目4-6	歯科・矯正歯科	なし
93	アライ歯科	新井 康元	藤枝市鬼島536-2	歯科	なし
94	あるふぁ歯科	秋庭 敬	藤枝市高柳1557-16	歯・小児歯科	なし
95	イシカワ歯科	石川 芳次	藤枝市瀬古2丁目4-8	歯科	なし
96	いのくま歯科・矯正歯科	猪熊 健一	藤枝市青木2丁目34-9	歯科・矯正歯科・小児歯科・口腔外科	なし
97	いのまた歯科医院	猪股 健二	藤枝市仮宿1334-1	歯科	なし
98	エール矯正歯科・こども歯科	八木橋敬介	藤枝市田沼2丁目15-31	矯正歯科・小児歯科	なし
99	おおいし歯科医院	大石 和久	藤枝市立花2丁目6-6	歯・小児歯科	なし
100	おおはし歯科クリニック	大橋 儀男	藤枝市水守369-5	歯・小児歯科	なし
101	さくま歯科	佐久間祥光	藤枝市田沼3丁目6-5	歯科・小児歯科・口腔外科	なし
102	スマート・デンタル・オフィス	大橋 克巳	藤枝市音羽町2丁目14-12	歯科・小児歯科・口腔外科	なし
103	セントラル歯科	滝本 雅巳	藤枝市五十海4丁目14-13	歯科	なし
104	パール歯科医院	中原 邦芳	藤枝市大東町446	歯科	なし
105	はせがわ歯科	長谷川眞康	藤枝市益津下55-1	歯・小児歯科	なし
106	ひよこ歯科	高橋 裕子	藤枝市高洲78-28	小児歯科	なし
107	ふくだ歯科医院	福田 僚	藤枝市青葉町3丁目15-7	歯科	なし
108	ふたば歯科医院	齋藤 光輝	藤枝市瀬戸新屋144-2	歯科	なし
109	ホワイト歯科クリニック	池谷 格	藤枝市築地314-4	歯・小児歯科	なし
110	モチヅキおかべ歯科クリニック	望月 誠	藤枝市岡部町内谷964-8	歯科・矯正歯科・小児歯科	なし
111	やまもと歯科	山本 竜	藤枝市東町1-20	歯・小児歯科	なし
112	青島歯科医院	青島 孝之	藤枝市田沼4丁目21-23	歯科	なし
113	浅井歯科医院	浅井 武	藤枝市高岡1丁目4-25	歯科・小児歯科・口腔外科	なし
114	井口歯科	井口 茂樹	藤枝市駅前3丁目15-8	歯科	なし
115	井口歯科医院駅南診療所	井口 英樹	藤枝市前島3丁目4-1	歯科	なし
116	井澤歯科医院	井澤 輝之	藤枝市田沼1丁目8-5	歯科	なし
117	岡歯科医院	岡 恵一郎	藤枝市大洲4丁目14-10	歯科・小児歯科・口腔外科	なし
118	岡野歯科医院	岡野喜九郎	藤枝市志太4丁目3-13	歯科	なし
119	岡本歯科医院	岡本 康雄	藤枝市岡部町内谷948-11	歯・小児歯科	なし
120	小澤歯科医院	小澤 成之	藤枝市瀬古2丁目22-23	歯科	なし
121	加茂矯正歯科医院	加茂 直久	藤枝市田沼3丁目4-1	矯正歯科	なし
122	岸村歯科医院	岸村 真澄	藤枝市郡1132	歯科	なし

登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
123	河野歯科医院	河野 吉紀	藤枝市与左衛門468-1	歯科	なし
124	後藤歯科医院	後藤 尚昭	藤枝市本町2丁目2-25	歯科・矯正歯科・小児歯科	なし
125	大手後藤歯科医院	後藤 喜章	藤枝市天王町3丁目2-1	歯科	なし
126	桜デンタルクリニック	桑原 伸吉	藤枝市平島1434-5	歯科・矯正歯科・小児歯科・口腔外科	なし
127	駿河台井澤歯科	井澤 雅博	藤枝市駿河台2丁目1-6	歯科	なし
128	竹中歯科医院	竹中 寛	藤枝市高洲1丁目17-5	歯・小児歯科	なし
129	時ヶ谷歯科クリニック	望月 祥和	藤枝市時ヶ谷399-3	歯・小児歯科	なし
130	徳田歯科医院	徳田 秀雄	藤枝市清里1丁目1-1	歯科	なし
131	鳥居歯科医院	鳥居 修一	藤枝市大東町1038	歯・小児歯科	なし
132	永井歯科クリニック	永井 隆治	藤枝市藤岡5丁目20-4	歯・小児歯科	なし
133	中村歯科医院	中村 収	藤枝市大手2丁目8-1	歯科	なし
134	二宮歯科医院	二宮 信彦	藤枝市岡部町内谷58	歯科・小児歯科・口腔外科	なし
135	服部歯科医院音羽町診療所	服部 治	藤枝市音羽町3丁目2-18	歯科	なし
136	原歯科医院	原 禎幸	藤枝市大洲2丁目6-8	歯科	なし
137	藤枝歯科	小杉 正明	藤枝市築地522-2	歯科・口腔外科	なし
138	細井歯科	細井 雅晃	藤枝市高洲48-26	歯科・矯正歯科・小児歯科	なし
139	松下歯科医院	松下 求	藤枝市高岡3丁目25-15	歯科	なし
140	溝越歯科医院	溝越 俊二	藤枝市上藪田13-10	歯科	なし
141	緑の森歯科	村松 安盛	藤枝市岡出山1丁目7-19	歯科	なし
142	村松歯科医院	村松 英昭	藤枝市本町2丁目1-39	歯科	なし
143	八木橋歯科医院	八木橋謙二	藤枝市青葉町2丁目1-57	歯・小児歯科	なし
144	若林歯科医院	若林 秀典	藤枝市水上116-1	歯科	なし
145	和田歯科医院	和田 雅之	藤枝市駅前2丁目4-21	歯科	なし
146	桑沢歯科医院	桑沢 淑和	焼津市下江留1714	歯科	なし
147	マスダクリニック	齊藤 信子	榛原郡吉田町川尻1409-1	内小	なし
148	前田産科婦人科医院	前田 津紀夫	焼津市小屋敷214-1	産婦	なし
149	谷口整形外科医院	谷口 正和	焼津市小屋敷192	リウ整リハ	なし
150	金井整形外科	金井 泰貴	焼津市大村2-10-9	リウ整リハ	なし
151	八木医院	八木 健	島田市祇園町8725-30	内呼	なし
152	しのはら産科婦人科医院	篠原 弘光	島田市岸町658-1	産婦	なし
153	小石川内科クリニック	塚本 克紀	焼津市栄町1-2-3	内アレ	なし

登録医療機関名簿

	医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	地域医療支援 病院開設者との 経営上の関係
154	六合整形外科	板垣 幹二	島田市道悦2-25-3	整	なし
155	小長谷内科・消化器科医院	小長谷 稔	焼津市栄町6-4-30	内消	なし
156	ケンこどもクリニック	山下 健一	島田市岸町250	小	なし
157	立花クリニック	立花 昭生	焼津市五ヶ堀之内779	内呼	なし
158	丸山歯科医院	丸山 誠二	焼津市相川1061-1	歯	なし
159	佐藤医院	佐藤 玄洲	焼津市田尻1647	内小皮	なし
160	さかい耳鼻咽喉科医院	酒井 丈夫	榛原町吉田町片岡1753-12	耳鼻	なし

登録医療機関数 医科 104 歯科 56 計 160

### 3 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	4,568人 (1,847人)
上記以外の救急患者の数	13,917人 (2,606人)
合 計	18,485人 (4,453人)

注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。  
括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙のとおり
--------

(2) 研修の実績

研 修 者 数	80回実施 延参加人数 2,500人
---------	--------------------

注) 前年度の研修生の実績を記入すること。

(1) 研修の内容

(平成23年度において実施した講演会など) 80回実施 延参加人数 2,500名

[第186回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年4月4日 (月)  
総説「角結膜感染症」眼科 星 最智  
学会発表「アロプリノールに誘発された中毒性表皮壊死症の一例」研修医 中嶋 香児  
ピットフォール「アレルギー性鼻炎について」耳鼻咽喉科 森田 祥

[第187回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年5月9日 (月)  
学術発表 CPC「66歳 男性」消化器科 志村 輝幸  
CPC「42歳 男性」心臓外科 阿久澤 聡

[第188回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年6月6日 (月)  
総説「自己免疫性膵炎とIgG4関連疾患」消化器科 大島 昭彦  
学会発表「胆のう癌の術前診断と外科的治療」研修医 藤井 陽一  
ピットフォール「大災害時の心血管イベント発生のメカニズムとそのリスク管理  
—東海地震発生に備えて—」循環器科 内藤 昭貴

[第189回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年7月14日 (木)  
特別講演「ネパールにおけるボランティア手術の経験 ～特に顔面裂を中心として～」  
昭和大学形成外科学 教授 吉本 信也

[第190回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年9月5日 (月)  
総説「食物アレルギーについて」小児科 小山 尚俊  
学会発表「精巣悪性リンパ腫の一例」研修医 大塚 真史  
トピックス「新しい内視鏡検査 —拡大NBI観察—について」消化器科 丸山 保彦

[第191回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年10月3日 (月)  
学術発表 CPC「75歳男性」消化器科 志村 輝幸  
CPC「77歳男性」泌尿器科 森川 愛 病理医 甲田 賢治

[第192回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年11月7日 (月)  
総説「医療者の落とし穴 —薬物依存—」麻酔科 白石 義人  
学会発表「粟粒結核によるARDS 結核性椎体炎の一例」研修医 一條 甲子郎  
トピックス「局所陰圧閉鎖療法による創傷治療」形成外科 森田 勝

[第193回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成23年12月5日 (月)

総説「HPV ワクチンについて」産婦人科 平井 強

学会発表「結腸胆嚢瘻・肝膿瘍を合併した胆嚢癌の一例」研修医 中澤 慎介

ピットフォール「CV ポート関連の合併症」外科 木村 賢

[第194回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成24年1月16日 (月)

総説「胃瘻いろいろ」総合内科 甲田 証

学会発表「開胸術後の縦隔炎に対し VAC 療法および大網充填術を施行した一例」

研修医 杉山 奈王美

トピックス「手術リスクとDPC」麻酔科 酒井 宏明

[第195回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成24年2月21日 (火)

特別講演「皮膚がんのみかた」浜松医科大学皮膚科 教授 戸倉 新樹

[第196回藤枝学術カンファレンス] (志太医師会共催) 平成24年3月5日 (月)

学術発表 CPC「58歳女性」消化器科 大島 昭彦

学術発表「気管支炎を契機に発症した慢性好酸球性肺炎の一例」研修医 中野 達生

ピットフォール「抗凝血、抗血小板療法に関するガイドライン」心臓外科 石神 直之

[心疾患症例検討会] (志太医師会共催)

平成23年4月14日 (木)、6月9日 (木)、10月13日 (木)、12月8日 (木)、

平成24年2月9日 (木)

循環器科 渡邊 明規

[神経症例検討会] (志太医師会共催)

平成23年7月11日 (月)、平成24年1月23日 (月)

脳神経外科 角谷 和夫、神経内科 中村 智

藤枝平成記念病院 脳神経外科 橋爪 和弘

[乳がん症例検討会] (志太医師会共催)

平成23年6月14日 (火)、9月13日 (火)、12月13日 (火)

臨床検査科 金丸 仁

[消化器症例検討会] (志太医師会共催)

平成23年6月21日 (火)、11月22日 (火)

消化器科 丸山 保彦



[レントゲン読影会] (志太医師会共催)

平成23年5月2日(月)、6月3日(金)、7月5日(火)、8月5日(金)、9月5日(月)、  
10月4日(火)、11月4日(金)、12月5日(月)、平成24年2月22日(水)

[胃がん・大腸がん発見症例検討会] (志太医師会共催)

平成24年3月29日(木)

消化器科 丸山 保彦、外科 姜 建宇、外科 島村 隆浩

[第5回 地域医療連携研修会]

平成23年6月16日(木)「地域医療と介護・福祉をつなぐ会」

かかりつけ医の立場からの事例報告

錦野クリニックの事例、菅ヶ谷内科医院の事例、ユニケア岡部の事例

[第6回 地域医療連携研修会]

平成23年9月8日(木)「地域医療と介護・福祉をつなぐ会」

テーマ「看取り」

かかりつけ医の立場からの事後報告

すぎむらクリニックの事例

[第7回 地域医療連携研修会]

平成23年11月30日(水)「地域医療と介護・福祉をつなぐ会」

「病院勤務医からみた終末期医療」緩和ケア科 吉野 吾朗

[臨床研修医症例発表会]

平成23年4月28日(木)

「凝固異常による多彩な病態を呈し治療に難渋した非小細胞肺癌の一例～呼吸器内科」

研修医 半谷 まゆみ

「感染症診療のロジック」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成23年5月26日(木)

「妊娠中期に発症した単純ヘルペス脳炎の一例」研修医 水谷 浩哉

「感染症診療のロジック 抗菌薬の選び方・使い方」県立がんセンター 大曲 貴夫

平成23年6月30日(木)

「中頭蓋窩巨大髄膜腫の一例」研修医 杉村 遼太

「しょうがない、のか？」緩和ケア科 吉野 吾朗

平成23年7月28日(木)

「急性B型大動脈解離に対してステントグラフト治療を行った症例」

研修医 佐塚 まなみ

「熱中症について」市立島田市民病院 救急科 松岡 良太

平成23年8月25日(木)

「BCG膀胱注入療法中に粟粒結核を発症した一例～呼吸器内科」研修医 後藤 博志

「明日から役に立つかもしれない小児救急の知識」小児科 清水 彰彦

平成23年9月29日(木)

「交通外傷にてびまん性軸索損傷をきたした一例」研修医 関口 陽介

「救急腹部超音波検査について」放射線科 秋山 敏一

平成23年10月13日(木)

「脳梗塞に対してrt-PA療法が奏功した一例と奏功しなかった一例との比較」

研修医 松浦 亮

「栄養療法実践のための症例検討～主観的包括的評価(SGA)」

臨床研修センター 橋本 治光

平成23年11月10日(木)

「著明な低アルブミン血症をきたした難治性下痢症の一例」研修医 丸 陽美

「3years in Vietnam」小児科 吉野 弘

平成23年12月1日(木)

「開腹手術を要した膀胱異物の一例～泌尿器科」研修医 藤井 陽一

「脳卒中初期治療とワーファリンが関与する症例」市立島田市民病院 松岡 良太

平成24年1月26日(木)

「浸潤性膀胱癌に対しバルーン閉塞下動注化学療法(BOAI)を施行した一例」

研修医 大塚 真史

「上部消化管造影検査について」放射線科 蒔田 鎮靖

平成24年2月23日(木)

「PD後の門脈狭窄に伴う消化管出血に対して門脈内ステント留置を施行した一例」

研修医 山田 智裕

「大動脈疾患に対するステントグラフト内挿術～現状と展望～」外科 西山 元啓

平成24年3月1日(木)

「好酸球性胃腸炎に食道病変を合併した一例」 研修医 紅林 泰  
「新生児・小児内分泌疾患と周産期地域連携」 副院長 香川 二郎

[志太・榛原地域リハビリテーション・セミナー]

平成23年10月24日(月)

「寝たきりにさせないための介護及び生活支援技術について」  
静岡県立大学教授 紙屋 克子

平成23年12月17日(土)

「大逆転の認知症ケア」(株)大起エンゼルヘルプ 和田 行男

[地域医療再生計画圏域事業]

平成23年6月24日(金)

「超急性期のリハビリテーション」 相澤病院リハビリテーションセンター 原 寛美

平成24年3月17日(土)

(一部)「リハビリテーションにおける地域連携医療」

初台リハビリテーション病院 石川 誠

(二部)「生活期におけるリハビリテーション」

船橋市立リハビリテーション病院 伊藤 隆夫

[志太榛原病理検査懇話会]

平成23年10月25日(火)

「正中頸のう胞に発生した乳頭癌の一例」 臨床検査科 清水 朋美

[管理栄養士NST育成研修]

平成23年5月11日(水)

「栄養アセスメントに必要な検査」 臨床検査科 長谷川 正

平成23年6月1日(水)

「輸液・経腸栄養剤について」 薬局 松永 伸子

平成23年7月6日(水)

「嚥下食について」 臨床栄養科 杉本 智子

平成23年7月13日(水)

「流動食について」 臨床栄養科 杉本 智子

平成23年8月3日(水)

「血糖コントロールと栄養」「消化管疾患・術後における栄養管理」

臨床栄養科 持塚 久美子

平成23年9月7日(水)

「肥満・高齢者の栄養管理」臨床栄養科 持塚 久美子

[呼吸器ケアチーム勉強会]

平成23年10月11日(火)

「慢性呼吸不全患者の栄養管理」臨床栄養科 松下 奈央美

[静岡県腎友会中部支部料理講習会]

平成23年11月27日(日)

臨床栄養科 藤本 沙紀、園田 芙美

[看護記録研修会]

平成23年12月7日(水)

青森中央短期大学 古橋 洋子

[平成23年度がん看護コース 基礎編]

平成23年5月6日(金)

「地域がん診療拠点病院と看護師の役割」がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

「がん看護研修に期待すること」看護部副部長 井原 詠子

平成23年6月3日(金)

「腫瘍学」緩和ケア科 吉野 吾朗

平成23年7月1日(金)

「看護師さんのための放射線療法」放射線科 松下 直樹

平成23年8月5日(金)

「胃癌 直腸癌について」「乳癌 肺がんについて」手術看護認定看護師 中山 龍二

平成23年9月2日(金)

「がん化学療法」がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

平成23年10月7日(金)

「外来化学療法センター実地研修」がん化学療法看護認定看護師 近藤 友香

「抗がん剤のミキシングについて」薬剤師 大畑 茂樹

平成23年11月4日(金)

「がん患者の創傷について」皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

平成23年12月2日(金)

「緩和ケア」緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成24年1月6日(金)

「緩和ケア(事例)」緩和ケア認定看護師 佐々木 久美

平成24年2月3日(金)

「緩和ケア(事例)」がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

平成24年3月2日(金)

「がん診療連携拠点病院におけるがん相談の役割」

がん相談担当看護師 向島 みゆき、医療ソーシャルワーカー 森 久美子

[平成23年度がん看護コース 応用編]

平成23年5月27日(金)

「がん患者の家族の心理について」臨床心理士 佐藤 亜貴子

「事例紹介」看護師 丸澤 麻喜子

平成23年6月24日(金)

「胃がん 肝臓がん」外科 東 正樹

平成23年7月22日(金)

「肺癌の疫学」呼吸器科 板谷 徹

平成23年8月26日(金)

「乳がんの診断と治療と保険」臨床検査科 金丸 仁

平成23年9月30日(金)

「抗がん剤について」消化器科 森 雅史

平成23年10月28日(金)

「がん看護における倫理について」皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

平成23年11月25日(金)

「放射線療法を受けるがん患者の看護」皮膚・排泄ケア認定看護師 水島 史乃

平成23年12月16日(金)

「事例発表のまとめ方／事例発表の経験から」

がん化学療法看護認定看護師 近藤 友香、看護師 岡本 聖子

平成24年2月24日(金)

事例発表

平成24年3月23日(金)

事例発表

[新生児蘇生法「専門」コース講習会]

平成23年5月12日(木)、6月15日(水)、7月25日(月)、9月21日(水)、  
12月8日(木)、平成24年2月8日(水)

[藤枝プレホスピタルカンファレンス]

平成23年9月14日(水)

「乳幼児熱傷症例」藤枝市東消防署 救急隊

「救急外来における熱傷患者の初期対応」看護師 松永 奈千代

「救命の連鎖」静岡県立こども病院 植田 育也

[第4回藤枝市立総合病院緩和ケア研修会]

平成23年6月25日(土)、26日(日)

緩和ケア科 吉野 吾朗、心療内科・精神科 福島 一成、呼吸器内科 津久井 賢

焼津市立総合病院 平松 毅幸、小平 誠

静岡市立静岡病院 岩井 一也

(講師の派遣)

[志太榛原地区健康づくり推進研修会] (静岡県栄養士会志太榛原地区研修会主催)

平成23年10月4日(火)

演題「薬と食品の相互作用について」薬局 芹澤 眞

[志太医師会学術講演会]

平成23年10月6日(木) 循環器科 渡邊 明規

平成23年11月10日(木) 泌尿器科 平野 恭弘

平成24年1月26日(木) 循環器科 渡邊 明規

平成24年3月8日(木) 心療内科・精神科 福島 一成

[志太榛原地区消化器癌分子標的治療講演会] (中外製薬㈱主催)

平成23年11月12日(土) がん化学療法看護認定看護師 萩原 純子

[第7回マンモグラフィ“読影カ”ランクアップ講座 in 静岡]

(静岡市静岡医師会、清水医師会、アストラゼネカ㈱共催)

平成23年4月23日(土)

演題「マンモグラフィの読影～構築の乱れ」放射線診断・治療科 五十嵐 達也

[医療安全・感染対策に関する研修会]

(誠和藤枝病院主催)

平成23年7月22日(金)

演題「感染管理対策について」感染対策室 石野 弘子、戸塚 美愛子

(静岡県看護協会主催)

平成23年10月27日(木)、28日(金)

教育研修「医療安全管理者養成研修」医療安全対策室 兵永 佳子

(静岡県病院協会主催)

平成23年12月10日(土)

感染対策支援セミナー

演題「膀胱留置カテーテル関連尿路感染対策」

副院長兼医療質管理センター所長 池谷 健

(3) 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 (有)・無

(2) 研修委員会設置の有無 (有)・無

(3) 研修指導者

H24.3.31現在

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
毛利 博	医師	血液内科	院長	36年	日本内科学会指導医・認定医 日本血液学会指導医・専門医
池谷 健	医師	小児科	副院長	33年	ICD制度協議会ICD
香川 二郎	医師	小児科	副院長	33年	教育責任者 専門(小児疾患)指導医養成講習会受講済 日本小児科学会専門医 日本内分泌学会専門医・指導医
横山 日出太郎	医師	外科	副院長	34年	日本外科学会認定医・指導医
白石 義人	医師	麻酔科	副院長	31年	日本麻酔科学会指導医・専門医 日本ペインクリニック学会指導医・専門医 日本集中治療医学会専門医
閨谷 洋	医師	呼吸器外科	副院長	31年	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会指導医・専門医 日本胸部外科学会認定医 日本呼吸器内視鏡学会指導医 肺がんCT検診認定医師
丸山 保彦	医師	消化器科	統括診療部長	23年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医・評議員 日本消化器病学会指導医・専門医・評議員 日本消化管学会胃腸科専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医 医学博士
渡邊 明規	医師	循環器科	第一診療部長	24年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション学会認定医
石神 直之	医師	心臓外科	第二診療担当部長	31年	心臓血管外科専門医 日本心臓血管外科学会国際会員 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本胸部外科学会認定医



五十嵐 達也	医師	放射線診断 ・治療科	第三診療担 当部長	22 年	日本医学放射線学会専門医 日本超音波医学会専門医・指導医 日本乳癌検診学会評議員 日本乳癌学会認定医 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医 マンモグラフィ検診読影認定医
高山 真一	医師	循環器科	救急担当部 長	35 年	日本内科学会指導医・認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション学会指導医 日本医師会認定健康スポーツ医
野末 則夫	医師	総合内科	科部長	31 年	日本内科学会指導医・認定医 日本感染症学会専門医 日本医師会産業医 日本人間ドック学会認定指定医
櫻井 厚二	医師	総合内科	第一科長	30 年	日本医師会産業医
甲田 証	医師	総合内科	第二科長	27 年	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会認定医 日本内科学会認定医
中澤 浩二	医師	総合内科	嘱託医師	43 年	日本内科学会認定医 日本老年医学会老年病専門医・指導医 日本人間ドック学会認定指定医 日本医師会産業医
中村 智	医師	神経内科	科長	22 年	日本内科学会認定内科医 日本神経学会専門医
福島 一成	医師	心療内科・精神 科	科部長	25 年	日本心身医学会専門医
津久井 賢	医師	呼吸器内科	科長	11 年	日本内科学会認定医 日本医師会産業医
景岡 正信	医師	消化器科	科長	17 年	日本内科学会指導医・認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医
大島 昭彦	医師	消化器科	医長	11 年	日本内科学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医
森 雅史	医師	消化器科	医長	9 年	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医

志村 輝幸	医師	消化器科	医長	8年	
阿部 信	医師	循環器科	第一科長	12年	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医
内藤 昭貴	医師	循環器科	第二科長	22年	日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション学会認定医 日本医師会産業医 日本医療情報学会医療情報技士
村田 興	医師	化学療法科	科長	25年	日本内科学会総合内科専門医・認定医 日本血液学会指導医・専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医
唐橋 太郎	医師	膠原病リウマチ科	科長	19年	日本内科学会指導医・認定医 日本リウマチ学会専門医
金本 素子	医師	膠原病リウマチ科	嘱託医師	10年	日本リウマチ学会専門医 日本内科学会認定内科専門医
伊東 充宏	医師	小児科	科部長	21年	日本小児科学会専門医 日本小児外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本周産期新生児医学会指導医 PALS Provider 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター
朝倉 功	医師	小児科	科長	12年	日本小児科学会専門医 PALS Provider
吉野 弘	医師	小児科	医長	13年	PALS Provider
白川 元昭	医師	外科	科部長	29年	日本外科学会指導医・専門医・認定医
前間 篤	医師	外科	第一科長	20年	日本外科学会専門医
姜 建宇	医師	外科	第二科長	20年	日本外科学会専門医・認定医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 医学博士

島村 隆浩	医師	外科	第三科長	17年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 マンモグラフィ検診読影認定医
岡本 和哉	医師	外科	第四科長	19年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
東 正樹	医師	外科	医長	15年	日本外科学会専門医・認定医 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医
西山 元啓	医師	外科	医長	9年	日本外科学会専門医 日本脈管学会専門医 胸部ステンドグラフト指導医
鈴木 一周	医師	心臓外科	科長	16年	日本外科学会専門医 日本心臓血管外科学会専門医
阿久澤 聡	医師	心臓外科	医長	12年	日本外科学会専門医・認定医 日本循環器学会専門医
高橋 毅	医師	呼吸器外科	科長	16年	日本外科学会専門医 日本呼吸器外科学会専門医 日本胸部外科学会認定医
阿部 雅志	医師	整形外科	科長	14年	日本整形外科学会専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 運動器リハビリテーション医 医学博士
鈴木 重哉	医師	整形外科	医長	11年	日本整形外科学会専門医
伊藤 高規	医師	整形外科	医長	10年	日本整形外科学会専門医
鈴木 希央	医師	整形外科	医長	7年	日本整形外科学会専門医
角谷 和夫	医師	脳神経外科	科部長	24年	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医

航 晃仁	医師	脳神経外科	科長	13 年	日本脳神経外科学会専門医
山村 泰弘	医師	脳神経外科	医長	12 年	日本脳神経外科学会専門医
森田 勝	医師	形成外科	医長	9 年	日本形成外科学会専門医
峯岸 季清	医師	形成外科	医長	8 年	日本形成外科学会専門医 日本麻酔科学会認定医
平野 恭弘	医師	泌尿器科	科部長	21 年	日本泌尿器科学会指導医・専門医 日本透析医学会指導医・認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医
青木 雅信	医師	泌尿器科	科長	17 年	日本泌尿器科学会指導医・専門医 日本透析医学会指導医・専門医 日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
今西 武志	医師	泌尿器科	医長	14 年	日本泌尿器科学会指導医・専門医
森川 愛	医師	泌尿器科	医長	8 年	
平井 強	医師	産婦人科	科長	15 年	日本産婦人科学会専門医
星 最智	医師	眼科	科長	12 年	日本眼科学会専門医 ICD制度協議会ICD 日本網膜硝子体学会認定医
南 泰明	医師	眼科	医長	7 年	
森田 祥	医師	耳鼻咽喉科	第一科長	13 年	日本耳鼻咽喉科学会専門医
鈴木 克佳	医師	耳鼻咽喉科	第二科長	9 年	日本耳鼻咽喉科学会専門医・認定医 VHJ機構指導医
今井 篤志	医師	耳鼻咽喉科	医長	8 年	日本耳鼻咽喉科学会専門医
高橋 健二	医師	麻酔科	科部長	30 年	日本麻酔科学会指導医 日本ペインクリニック学会認定医 麻酔科標榜医
酒井 宏明	医師	麻酔科	科長	21 年	日本麻酔科学会指導医・専門医 日本集中治療医学会専門医

航 尚子	医師	麻酔科	嘱託医師	12 年	日本麻酔科学会指導医
甲田 賢治	医師	病理診断科	科部長	30 年	日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医
金丸 仁	医師	臨床検査科	科長	38 年	日本外科学会指導医・認定医 日本乳癌学会認定医
吉野 吾朗	医師	緩和ケア科	科部長	25 年	日本外科学会専門医・認定医 日本消化器外科学会認定医 日本緩和医療学会暫定指導医
田村 亨治	医師	禁煙指導室	室長	25 年	
春藤 恭昌	医師	救急科	医長	16 年	
橋本 治光	医師	臨床研修室	室長	29 年	ICD制度協議会ICD 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医

注) 教育責任者については特記事項欄にその旨を記載すること。

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	187.24 m <sup>2</sup>	(主な設備) ビデオプロジェクター、液晶プロジェクター、パブリックアドレスシステム
多目的スペース	143.40 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式
医局研修室	66.29 m <sup>2</sup>	(主な設備) コンピュータシステム、デジタルカラーフィルムレコーダー
図書室	299.22 m <sup>2</sup>	(主な設備) 文献検索システム、スライド作成システム、インターネット
3階カンファレンスルーム	25.73 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
4階カンファレンスルーム	26.40 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
5階カンファレンスルーム	27.28 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
6階カンファレンスルーム	26.84 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
7階カンファレンスルーム	26.84 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
8階カンファレンスルーム	37.83 m <sup>2</sup>	(主な設備) TV・ビデオ一式、シャーカステン
カルテ管理室	235.46 m <sup>2</sup>	(主な設備) カルテ管理システム (ANS-II)

注 1 「研修の実績」欄の「研修者数」は、前年度の研修生の実数を記載してください。

2 「研修の体制」欄の「研修指導者」の「特記事項」は、教育責任者については、その旨を記載してください。

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	院長 毛利 博		
管理担当者氏名	経営管理センター 医療質管理センター 事務部 地域医療連携センター	医事管理室長 診療情報管理室長 管理課長 地域医療連携室長	藤坂 博樹 池谷 秀雄 仙島 直之 石神

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者についての入院期間中の診療経過の要約		診療情報管理室	中央管理により、ターミナルデジット方式で分類保管（紙の診療記録） 入院カルテについては電子カルテ化している（眼科を除く）
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事管理室	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧実績	診療情報管理室 医事管理室 管理課 地域医療連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室 医事管理室	

注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	院長 毛利 博		
閲覧担当者氏名	経営管理センター 医療質管理センター 事務部 地域医療連携センター	医事管理室長 診療情報管理室長 管理課長 地域医療連携室長	藤坂 博樹 池谷 健 仙島 秀雄 石神 直之
閲覧の求めに応じる場所	経営管理センター 医療質管理センター 事務部 地域医療連携センター	医事管理室 診療情報管理室 管理課 地域医療連携室	
前年度の総閲覧件数		29	件
閲覧者別	医師		0 件
	歯科医師		0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		29 件

注) 閲覧件数については、前年度の総延べ数を記入すること。



7 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	3 回
委員会における議論の概要	別紙のとおり

注) 委員会の開催回数及び議論の概要について、前年度のものを記載すること。

8 患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室 患者相談室																																																																		
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	MSW (社会福祉士) 4名 がん相談担当看護師 1名 他																																																																		
患者相談件数	(平成23年度) H23年4月～24年3月 7037件																																																																		
患者相談の概要	<p>患者相談の概要</p> <table> <tr><td>心理的問題</td><td>191件</td><td>(2.7%)</td></tr> <tr><td>療養介護の問題</td><td>584件</td><td>(8.3%)</td></tr> <tr><td>DV・育児</td><td>223件</td><td>(3.2%)</td></tr> <tr><td>退院援助・在宅</td><td>1246件</td><td>(17.7%)</td></tr> <tr><td>〃</td><td>2707件</td><td>(38.5%)</td></tr> <tr><td>受診援助</td><td>672件</td><td>(9.5%)</td></tr> <tr><td>障害手帳・年金</td><td>21件</td><td>(0.3%)</td></tr> <tr><td>医療費助成制度</td><td>76件</td><td>(1.1%)</td></tr> <tr><td>経済的問題</td><td>117件</td><td>(1.7%)</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1200件</td><td>(8.8%)</td></tr> <tr><td>計</td><td>7037件</td><td></td></tr> </table> <p>(がん患者相談) 再掲</p> <table> <tr><td>心理的問題</td><td>181件</td><td>(8.4%)</td></tr> <tr><td>療養介護の問題</td><td>58件</td><td>(2.7%)</td></tr> <tr><td>DV・育児</td><td>0件</td><td>(0.0%)</td></tr> <tr><td>退院援助・在宅</td><td>165件</td><td>(7.6%)</td></tr> <tr><td>〃</td><td>73件</td><td>(3.4%)</td></tr> <tr><td>受診援助</td><td>539件</td><td>(25.0%)</td></tr> <tr><td>障害手帳・年金</td><td>3件</td><td>(0.1%)</td></tr> <tr><td>医療費助成制度</td><td>3件</td><td>(0.1%)</td></tr> <tr><td>経済的問題</td><td>35件</td><td>(1.6%)</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1104件</td><td>(51.1%)</td></tr> <tr><td>計</td><td>2161件</td><td></td></tr> </table>	心理的問題	191件	(2.7%)	療養介護の問題	584件	(8.3%)	DV・育児	223件	(3.2%)	退院援助・在宅	1246件	(17.7%)	〃	2707件	(38.5%)	受診援助	672件	(9.5%)	障害手帳・年金	21件	(0.3%)	医療費助成制度	76件	(1.1%)	経済的問題	117件	(1.7%)	その他	1200件	(8.8%)	計	7037件		心理的問題	181件	(8.4%)	療養介護の問題	58件	(2.7%)	DV・育児	0件	(0.0%)	退院援助・在宅	165件	(7.6%)	〃	73件	(3.4%)	受診援助	539件	(25.0%)	障害手帳・年金	3件	(0.1%)	医療費助成制度	3件	(0.1%)	経済的問題	35件	(1.6%)	その他	1104件	(51.1%)	計	2161件	
心理的問題	191件	(2.7%)																																																																	
療養介護の問題	584件	(8.3%)																																																																	
DV・育児	223件	(3.2%)																																																																	
退院援助・在宅	1246件	(17.7%)																																																																	
〃	2707件	(38.5%)																																																																	
受診援助	672件	(9.5%)																																																																	
障害手帳・年金	21件	(0.3%)																																																																	
医療費助成制度	76件	(1.1%)																																																																	
経済的問題	117件	(1.7%)																																																																	
その他	1200件	(8.8%)																																																																	
計	7037件																																																																		
心理的問題	181件	(8.4%)																																																																	
療養介護の問題	58件	(2.7%)																																																																	
DV・育児	0件	(0.0%)																																																																	
退院援助・在宅	165件	(7.6%)																																																																	
〃	73件	(3.4%)																																																																	
受診援助	539件	(25.0%)																																																																	
障害手帳・年金	3件	(0.1%)																																																																	
医療費助成制度	3件	(0.1%)																																																																	
経済的問題	35件	(1.6%)																																																																	
その他	1104件	(51.1%)																																																																	
計	2161件																																																																		

注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。

備考

記名押印に代えて、申請者（法人にあっては、その代表者）が自署することができます。

## 藤枝市立総合病院運営懇話会会議録

1 日 時 平成23年 6月 9日(木) 15:00~15:40

2 場 所 藤枝市立総合病院2階 第一会議室

3 出席者(\_\_\_\_は欠席者)

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 川口委員 川嶋委員  
小山委員 下村委員 竹内委員 若林委員 中山委員 栗田委員  
河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員

オブザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 渡辺副院長

事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉山

4 委員の交代

委員 岩間真人 → 竹内浩視(中部保健所長)  
" 山田壽久 → 小山明良(藤枝商工会議所副会頭)  
" 鈴木宏美 → 栗田隆生(健康福祉部長)

5 報告・協議事項

[1] 平成23年度の当院の運営方針について

(毛利会長) 平成22年度の決算見込額では、前年度の10億円台から1ケタの真ん中あたりのマイナスと見込まれている。今年度は大幅な改善は厳しいので、改善のスピードは減速する。まだまだ医師の数が充分でないので医師確保に努め、次年度以降1~2年かけて黒字化を目指していきたい。4月より産婦人科医師3人体制で産婦人科の分娩を再開し、地域周産期母子医療センターに再認定された。今後は、周産期医療の中心となる強い病院を目指し、産婦人科医師は5~6人体制となるよう浜医大に働き掛けて行く。また、周産期医療では小児科や産婦人科は同じフロアにあるのが重要である。更に10月には、新たに麻酔科医師が着任予定である。常勤の麻酔科医師が確保されることにより、今まで自科麻酔で対応していた外科系医師の負担軽減にもなり手術室等の活性化を期待している。保険医療機関停止の際に閉鎖された歯科口腔外科は5年ぶりの再開に向けて、厚生労働省東海北陸厚生局と調整している。今後の予算取り等について、市議会や財政当局にお願いしたい。また、今年の夏には看護部に外部から副部長職を採用する予定であり、看護部に外部からの感覚も取り入れて強化していきたい。地域医療再生計画では、救命救急、周産期医療、在宅医療のうち、当院は救急棟新設の申請を提出しているが、当院の申請が採択されるかはまだ不確定である。現在、内科系医師が少なく、内科の体制が弱くなっており、今後も浜医大との連携を密にして内科系医師の確保に努めていきたい。経営的に今年度は体力を付けていく年と考えており、財政的にも市の支援をお願いしたい。病院の収支はV字回復になっているが、今後ゆれ戻しの可能性も懸念される。今年度は赤字が酷くならないように努めたい。

[2] 病院まつりについて

(仙島課長) 資料1で説明。平成21年1月にプレ病院まつりを始めてから、今年度は3回目の本開催となる。今年度の開催日は10月15日を予定している。昨年度は、藤枝大祭、岡部の大龍勢、市内の小中学校の運動会などと重なったため、来院者が少なかったが、今年度は市内1校をのぞいては行事が重なっていない。今年度の実行委員会は石神部長を実行委員長として発足した。当日は「市民フォーラム」を病院支援局と一緒に実施する計画もある。広報ふじえ

だ9月20日号で広報するとともに子供達の参加を促すため、市内小中学校にも案内通知をしていく。病院まつりという名称については、昨年、院内で亡くなったりする人がいるのに何事だというおしかりの意見もあった。

(毛利会長) 名称はそのままでも良いのではないか。

### [3] その他

(河野委員) 病院支援局の平成23年度の取り組みについて、別紙で説明。病院支援局は、お金のことばかりをやっているわけではなく、病院との連絡調整機関として、病院と市民との橋渡しや病院経営に関する側面的支援をしている。今年度の取り組みでは、地元に住む優秀な人材に対し、中部看護専門学校と共同で、看護師の魅力ややりがいについて、藤枝北高校を会場に講演「看護師さんになってみては…」の実施を予定している。

(毛利会長) 池谷副院長や横山副院長も藤枝東高出身者であり、医師も藤枝市出身の人が居てくれると良いと思っている。

(河野委員) 病院まつりにも参画し、今年度も3つのスローガン「コンビニ受診は控えよう」「かかりつけ医を持とう」「医師にありがとうの一言を」と書かれた風船を配布していく。また、市民フォーラムも病院まつりでの開催を計画しているので多くの方々の参加をお願いしたい。病院支援清掃ボランティアは5月14日に開催し、ハルモニアや病院職員とともに参加した。

(竹内委員) 今年4月に中部保健所に赴任した。行政に携わる前は小児科医として臨床を行っていた。今年3月までは、県庁で感染症やがん対策を担当していたが、今後は地域の保健所長として志太榛原地域のみなさんのご意見を聞きながら頑張っていきたい。

(毛利会長) よろしくをお願いしたい。

(原田委員) 地域医療連携センター業務について別紙資料で説明。地域医療連携室は志太医師会の職員とともに業務を行っている。患者相談室は改めて独立し、退院支援係を今年度から新たに設置し、看護部とも調整を行っていききたい。がん相談係には専従の看護師を配置した。患者相談係では、患者さんのご意見対応も行っている。院内ボランティアは、現在80数名となっている。

(院長) 当院の地域医療との連携は、地域医療連携センターが主要となってくる。

(池谷委員) 病院まつりでの市民フォーラムの内容や会場はどうなっているか。

(河野委員) 3月18日に計画していた市民フォーラムが東日本大震災の関係で中止となったため、改めて開催をしていく。当市の「健康日本一」もPRしていきたい。

(管理課長) 6月15日(水)の市民公開講座は、長寿県下ナンバーワンの「藤枝の健康とリスク管理」と題して開催するのでPRをお願いしたい。

---了---

## 藤枝市立総合病院運営懇話会会議録

1 日 時 平成23年11月21日(月) 15:00~16:10

2 場 所 藤枝市立総合病院2階 講堂

3 出席者(\_\_\_\_は欠席者)

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 川口委員 川嶋委員  
小山委員 下村委員 竹内委員 若林委員 中山委員 栗田委員  
河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員

オブザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 白石副院長 渡辺副院長  
事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉山

4 報告・協議事項

### 〔1〕院長あいさつ

(毛利会長) 平成25年度を目標とした中期経営計画の収支目標は今のところ順調に1年前倒しで、上向きに推移している。平成19年・20年に70名に満たなかった常勤医師数は現在90名まで回復してきたが、内科系医師が不足している状態である。平成24年度臨床研修医のマッチングでは10名の募集定員に対し1名のアンマッチが発生したが、追加募集により定員数は確保された。今後、世代交代も見据えて、若い医師の確保に努めていきたい。

### 〔1〕麻酔科医師の確保について

(毛利会長) 10月から、副院長として浜松医科大学医学部附属病院 麻酔科 准教授の白石義人先生が同病院の麻酔科医2名とともに着任された。これで当院の麻酔科常勤医師は全部で5名体制となった。

(白石副院長) まずは、外科系のオペの充実のためがんばっていきたい。他の診療科の充実なしには、地域医療の活性化はないので、短期間ではなく、長期的な目で見ていただくようにご協力をお願いしたい。

(毛利会長) 麻酔科は、ペインクリニックも順次行う体制を整えて、しっかりと徐々に充実させていきたい。

### 〔2〕来春からの7:1看護体制への移行について

(渡辺副院長) 平成18年策定の中期経営計画の実施計画の中で唯一未実施であった。7:1看護体制実現についてプロジェクトチームを中心に院内看護師の再配置、離職防止、採用の促進・強化に努めた。平成24年4月に実績を取りまとめ、5月届出、6月からの算定開始を考えている。手厚い看護配置により医療の質を高めていきたい。

(毛利会長) 当院は現在、10:1看護体制である。近隣の市立島田市民病院、焼津市立病院は既に7:1看護体制に移行している。

(池田委員) 4月に採用の看護学生も想定した数字なのか。

(渡辺副院長) 4月の新規採用職員及び3月までの退職職員も考慮している。

(毛利会長) 今後、患者数と看護師の職員数の調整が必要である。7:1看護体制では、看護師にとっても無理のない勤務が可能となり、看護負担度も軽減される。

(下村委員) 離職防止に努めているとの事だが、定年後の60歳以上の職員の対応はどうか。また、子育て対策はどうか。

(渡辺副院長) 再雇用はしている。また、出産した職員が勤務しやすいように夜間保育についても取り組んでいる。現在、院内の保育所での園児は30人以上となっている。

(下村委員) 保育士の確保は大丈夫か。

(毛利会長) 運用面は十分ではなく、課題も多い。病院職員(医師・看護師)の勤務は特殊で、急な出勤もあり、それに応じた体制はできていない。

(下村委員) 女医の定職率についてはどうか。

(毛利委員) 女医の定着は病院としても考えていかななくてはならない課題である。現在、思考中であるがビジョンをもっておこなっていききたい。

### [3] 来年度からの人間ドックについて

(原田委員) 来年度4月から1泊人間ドック、脳ドックを休止とする。内科系医師不足により診療部への負担が大きいことなどが理由である。すでに4月以降に予約の入っている患者には、日帰りドックへの変更をお願いしているが、一部は変更できないとのことである。今後、ホームページや広報で周知していききたい。市民サービスのことを考えると、早く再開出来ることを望んでいる。

(下村委員) 人間ドックによる収益はどうか。

(毛利会長) 収益以上に、内科系医師の不足が問題となっている。現在当直体制を組むのも苦労している状態であり、人間ドックの縮小はやむを得ない。

(下村委員) 1泊人間ドックで使用していた医療機器はどうなるのか。

(毛利会長) 診療で使用している医療機器なので問題はない。平成25年度以降は、今の研修医が後期研修として内科医が1~2名残ってくれることを期待している。ここ1~2年が一番厳しい時である。

### [4] その他

#### ○地域医療を考える市民フォーラムについて

(河野委員) 当初、今年3月に行う予定であったが東日本大震災発生に伴い、11月29日に改めて開催することとなった。毛利会長が「地域医療のこれから」と題して基調講演を行うので、是非、多数の参加をお願いしたい。

#### ○病院ふれあいフェスタのお礼・報告

(松浦委員) 「病院まつり」から名称を改めた「病院ふれあいフェスタ」を10月15日に開催した。3回目ということもあり定着してきた。悪天候であったが午後もお客さんが途切れることはなかった。主催者発表としては、およそ3千人の来場であったと思われる。特に、骨密度、動脈硬化測定、栄養相談、プチナース・プチドクターが人気であった。ご協力いただいた多くの関係団体の方に感謝したい。来年も、よろしくお願いしたい。

(毛利会長) 病院職員も慣れてきたようで、スムーズな運営であった。今後も、ご支援をお願いしたい。

#### ○当面の取組みについて

(毛利会長) ①歯科口腔外科については、来年10月に保険医療機関取消から5年が経過する。歯科口腔外科再開に向けて2月の市議会で歯科口腔外科関係医療機器等の予算化をしていきたい。10月には診療再開できるのではないかと。②7:1看護体制を実践していく。③救急体制充実のために国、県にもお願いして取り組んでいきたい。当院の一番目指すべきものは、「がん拠点」としての機能充実と考えている。

### ○地域医療・介護の連携について

(横山副院長) 現在、当院では心療内科医が少なくなっているが、心療内科・精神科の開業医との地域医療連携により比較的順調に機能している。老健施設との間でも退院患者の受入等の連携について年1回話し合いをするとともに、後方連携でもあるケアマネとも年3～4回話し合いをしている。これらは病院だけでなく、市や県など行政が主体的になって地域医療の連携を考えてもらいたいので、行政の方には医療看護の勉強会等には積極的に関与して参加してもらいたい。地域内での看取りは、開業医の訪問等で対応しているが、病院と診療所との病診連携で考えるのではなく、もっと行政が現状を認識してもらうとともに積極的に考えてもらいたい。

(院長) 現在、医療費は天井知らずとなっている。在宅医療をどうしていくかなど地域医療の課題は多い。医療従事者だけが考えるのではなく、行政、地域の方々みんなで考えていくべき問題である。

### ○病院に関する当面の議会对応について

(河野委員) 11月議会での病院関係の議案を報告させていただく。来年度4月から地方公営企業法の一部適用から全部適用となる。11月と2月議会に関係する条例の改正を行っていく。10KM圏内の防災計画の見直しがあり、県から初期被ばく医療機関として、被爆医療体制の整備により210万円の補助金が交付される。

(松浦委員) 経営形態の見直しにより来年度4月から地方公営企業法の一部適用が全部適用となる。一番大きく変わるのは、組織のトップが市長から病院事業管理者となることである。市長が事業管理者を決めることになるがまだ決まっていない。

(青島委員) 院長が、管理者となるのではないか。

(松浦委員) 管理者と院長が兼務の場合が多く、島田、磐田は院長が病院事業管理者となっている。しかし、焼津は別々の二人体制である。

(下村委員) 新たに労働組合をつくるのか。

(松浦委員) 現在は職員組合であるが、労働組合をつくることは可能となる。形態としては、水道事務所と同じである。

### ○TPPにおける影響について

(下村委員) TPP参加によって地域医療・皆保険制度への影響はどのようなと思うか。

(毛利会長) アメリカでの医療は、国ではなく個人の自己責任、自己管理となっている。日本で未承認の薬を使用する場合、混合診療として保険適用外となるが、アメリカはこの未承認薬の参入を求めてくる可能性はある。日本の皆保険制度や薬価制度がアメリカのような医療体制となった場合には、日本でも医療格差が拡大する危険が危惧される。

## 3 その他

### ○保健所としての対応

(竹内委員) 今後、救急医療体制など地域医療体制の充実を図っていきたい。在宅医療の推進も図りたい。学生の病院見学会等には全国から参加があり、病院には協力していただきお礼を申し上げます。医療・介護の連携については積極的に協力していきたい。

### ○市民公開講座について

(事務局) 12月21日(水)の市民公開講座は、「高血圧ってなあに？」と題して開催するのでPRをお願いしたい。

## 藤枝市立総合病院運営懇話会会議録

1 日時 平成24年 3月 8日(木) 15:00~16:10

2 場所 藤枝市立総合病院2階 多目的スペース

3 出席者(\_\_\_\_は欠席者)

委員 毛利会長 青島委員 池谷委員 池田委員 川口委員 川嶋委員  
小山委員 下村委員 竹内委員 若林委員 中山委員 栗田委員  
河野委員 松浦委員 釜田委員 原田委員

オブザーバー 池谷副院長 横山副院長 香川副院長 白石副院長 渡辺副院長  
事務局 仙島管理課長 五加総務係長 杉山

4 報告・協議事項

[1] あいさつ

(毛利会長) 国の交付金により、救急センターを、平成27年度を目標に建設予定であるが、基本設計について内部で協議中である。具体的に決まったら報告していく。

7:1看護体制については、6月に7:1看護体制となるよう取り組んでいる。

[1] 中期経営計画の進捗状況の報告について

(釜田委員) 資料1で説明。

赤字の部分が今回見直した箇所と進捗状況である。中期経営計画は平成21年度~平成25年度の5カ年計画で、今年度(平成23年度)の決算見込み、来年度(平成24年度)の予算(案)に基づいて収支計画等を見直すとともに中期経営計画の実施計画の進捗状況をまとめた。

中期経営計画の3本柱である1)収支計画、2)人員計画、3)99施策に及ぶ実施計画を見直した。

「収支計画」については、平成24年度、3億円程度の改善を見込み、設備投資について、救急センター建設が1億円増額。医療機器については、平成24年度の歯科再開分が加算されている。「人員計画」については、診療科にもよるが、総合的に医師が増加となる。看護師についても7:1を実行する前提で確保していく。「実施計画」について、すでに終わっているのが59施策。今年度終わったのが13施策となり、未実施がゼロ。3月16日(金)の市議会2月定例会最終日に議員に報告後、病院のHP等で公表していく。

(若林委員) 歯科が再開ということだが、医師数の中に歯科医師も含まれるのか。

(仙島管理課長) 4月現在なので、平成24年度には含まれていない。平成25年度は含まれる。

(川口委員) P26-2に「一般会計等からの繰入金の見通し」について、何か購入予定か。

(釜田委員) あくまでも、いま考えられる予定である。ルールに基づいている。

(河野委員) 21億円は、赤字補填の主旨ではない。必要な救急救命やICUにかかる経費について、最低限度市がみるべき費用である。

(川口委員) 救急センター建設の費用は、21億円に入っているのか。

(河野委員) 入っている。平成24年度は、設計費となる。

(釜田委員) 平成24年度の建設費は、1500万円くらい。実際の支出は平成27年度となるが、国・県からの補助金と起債(借金)が大半である。

(下村委員) 看護師確保のプロジェクトとは何か。

(渡辺副院長) 診療部医師、事務部部长、技術部、看護師で構成。



(毛利会長) 7:1新体制承認には、1年間の実績をつまなくてはならない。7:1について、国は高い評価をするため、病院としては、7:1をとるよう努力している。

### 〔2〕救急センター整備構想について

(釜田委員) 地域医療再生臨時特例交付金は、平成22年度の国の補正でできた制度である。救急医療、周産期医療、在宅医療の3つを柱にしている。当院については、救急医療で国の補助金をいただく予定である。

～資料2で説明～

(下村委員) 志太榛原救急センターとの関係はどうなるのか。

(毛利会長) 志太榛原救急センターは一次救急であり、比較的軽症の方が対象である。当院は二次以上の高次の救急である。

### 〔3〕その他

○当面の取組について

(毛利会長) 平成24年度中には、常勤の医師数が90人代の後半くらいになると推測される。呼吸器内科医師についても、増加の見通しがたってきた。

○病院事業管理者について

(松浦委員) 2月28日の市議会2月定例会代表質問で、4月1日からの全部適用に伴う事業管理者の選任についての質問があった。北村市長が、「これまでの医師確保の実績」、「優れた経営手腕の発揮」、「経営改善の実績」等を踏まえて、毛利病院長に事業管理者をお願いすると答弁した。

(毛利会長) 全部適用になっても大きく変わるわけではない。どこの病院も模索中である。徐々に方向性を決めていけば良い。

○7:1看護体制について

(毛利会長) 医師の確保と同じで、ご協力をお願いしたい。

(渡辺副院長) 救急センター構想にも、人員が必要となってくる。ぜひご協力をお願いしたい。

## 3. その他

○歯科口腔外科の再開について

(若林委員) 以前行っていた歯科治療と同じ内容の治療を求めている患者さんがいる。

(毛利会長) 必ずしも同じ内容でできるとは思わないでほしい。当院にくる医師と歯科医師会の先生方と、調整させていただく。

○救急救命士の気管挿管実習について

(白石副院長) 平成24年4月1日より志太地域の救急救命士の挿管実習を行う。実習を受けていなくて、資格を取得できない者が当地域ではかなり多い。

(毛利会長) 麻酔科にかなり負担はかかるをお願いしたい。

○保健所長より

(竹内委員)

### 1. 中期経営について

地域医療支援病院は、県内でも指定が増えてきた。国では、年4回、委員会をやってほし

いとしている。藤枝は、昨年度、4回実施している。今後も継続してほしい。

2. 地域がん診療連携拠点病院について

国と県の制度の中で国は二次医療圏である。今後、国の拠点病院の見直しがあり、県の指定の見直しもあるので、より病診連携や病病連携に力を入れていただければと思う。

3. 地域医療再生計画について

志太榛原の救急医療センターの位置づけは病院の負担を軽くしていく目的で維持していく。藤枝市立総合病院の計画は、国にも内示をもらっている。

4. 医師の確保について

今年度、県・浜松医大と連携し高校生を対象として、地元出身の医師を増やそうと「こころざし育成セミナー」を藤枝市で開催した。今後は、他の病院でも実施していく。

---了---